

## 歯学部第4学年強化合宿の学習成果について（報告）

## 1. 概要

## (1) 趣旨

本学では、第4学年を対象に、医療系大学間共用試験実施評価機構が実施する教養試験（CBT）（以下「CBT 試験」という。）に向けた強化合宿を実施しています。

CBT 試験は、29 歯科大学・大学歯学部が参加し、臨床実習開始前の学生の能力を全国的に一定水準に確保するために、大学間で共通の評価試験を実施することを目的として平成17年より本格的な運用が開始されています。

本学歯学部では、当該試験を第5学年への進級基準として課しており、第4学年については、アセスメント・テスト（学修到達度調査）として、CBT 受験資格試験を全4回実施しており、合宿、グループ学習、補講など各種の学習支援施策の効果検証及び学習成果の把握に活用しています。

当該報告書は、強化合宿の効果について学内アセスメント・テストを用いて検証することで、教育改善活動につなげるため、学習の成果を可視化することを目的としています。

## (2) 分析手法

アセスメント・テストとして、第4学年で実施する以下の試験を対象に、合宿参加者について、前後の試験結果を用いて t 検定を行う。

（合宿期間）7月末、12月末 おおよそ1週間

（評価対象試験）

7月下旬（合宿前） 第1回 CBT 受験資格試験

9月上旬 第2回 CBT 受験資格試験

12月下旬（合宿前） 第3回 CBT 受験資格試験

1月上旬 第4回 CBT 受験資格試験

なお、共用機構実施の CBT 試験は、2月下旬頃に受験する。

## 2. 結果

2017年度冬合宿実施以降、合宿前後の試験結果について、有意水準5%で t 検定を行った結果、いずれも有意差ありの結果となった。

一定の効果があると想定し、2018年度より新たに夏合宿を実施したところ、2018年度第4学年の CBT 本試験の合宿参加者の合格率は8割となり、極めて高い結果となった。

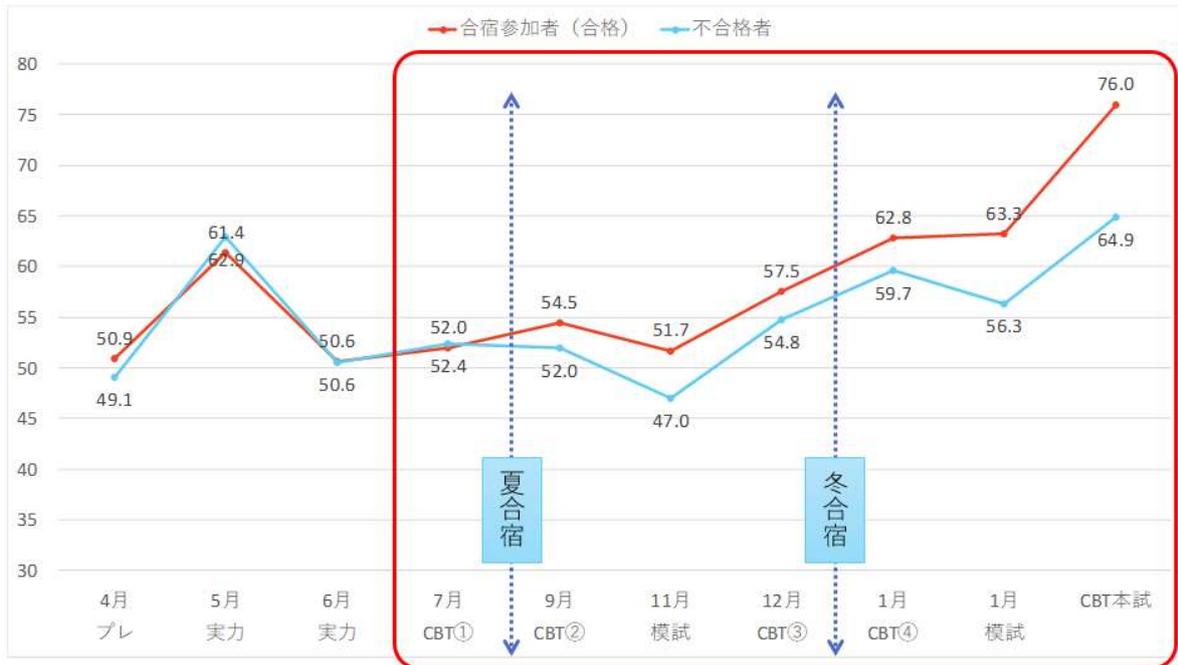
## &lt;夏合宿&gt;経年比較

2019年度夏合宿			2018年度夏合宿		
	CBT①	CBT②		CBT①	CBT②
平均	43.6	45.7	平均	37.7	45.7
分散	68.0	68.3	分散	24.5	39.2
観測数	37	37	観測数	32	32
ピアソン相関	0.837		ピアソン相関	0.658	
仮説平均との差異	0		仮説平均との差異	0	
自由度	36		自由度	31	
t	-2.628		t	-9.447	
P(T<=t) 片側	0.006		P(T<=t) 片側	6.13E-11	
t 境界値 片側	1.688		t 境界値 片側	1.6955	

## &lt;冬合宿&gt;経年比較

2018年度冬合宿			2017年冬合宿		
	CBT③	CBT④		CBT③	CBT④
平均	42.2	44.7	平均	36.9	42.3
分散	47.9	40.6	分散	34.1	64.2
観測数	27	27	観測数	27	27
ピアソン相関	0.709		ピアソン相関	0.595	
仮説平均との差異	0		仮説平均との差異	0	
自由度	26		自由度	26	
t	-2.464		t	-4.340	
P(T<=t) 片側	0.010341		P(T<=t) 片側	9.58E-05	
t 境界値 片側	1.705618		t 境界値 片側	1.705618	

<学内アセスメント・テスト正答率推移> 経年比較  
2018年度第4学年



2017年度第4学年

